



※写真はイメージです

© 宝塚歌劇団

チケット

宝塚歌劇雪組全国ツアー公演
ミュージカル・ロマンス「若き日の唄は忘れじ」
～藤沢周平作「蟬しぐれ」(文春文庫)より～
脚本：大関弘政 演出：大野拓史 主演：^{そうかずほ}壮一帆 ^{まなか}愛加あゆ
藩の権力争いに巻き込まれた藩士の波乱に満ちた半生と、彼を慕う武家娘との淡い恋心を切々と描いた藤沢文学の香り高い名作。2月、中日劇場での壮一帆、愛加あゆの雪組新トップコンビのお披露目公演が大好評を博し、全国ツアー公演における再演が決定。
ロマンチック・レビュー「ナルシス・ノアールII」作・演出／岡田敬二
ナルシストの様々な願望、悲しみ、美への憧れ、自己陶醉などを美しい音楽と華麗なコスチュームで表現した耽美的なレビュー。

2013年9月14日[土] 14:00/18:00 ※開場30分前 大ホール

シーパイン友の会電話先行予約：6月2日[日] 9:00～
会員価格 全席指定 S席 6,500円 A席 5,500円 B席 4,500円
※2枚まで割引、3枚目以降は一般価格
一般発売：6月14日[金] 10:00～
全席指定 S席 7,000円 A席 6,000円 B席 5,000円 ※未就学児入場不可

公演案内

辻井伸行日本ツアー 2012/13

5月27日[月] 19:00 開演 大ホール チケット：完売
曲目：ショパン「英雄ポロネーズ」ほか
主催：仙台放送 河北新報社 共催：公益財団法人名取市文化振興財団

がんばろう！なとり オールナイトニッポンコンサート 2013 ～あらたな絆を未来へ～

6月15日[土] 17:00 開演 大ホール チケット：発売中
出演：山本潤子 なごみーず(伊勢正三、太田裕美、大野真澄)ほか
主催：TBC 東北放送 公益財団法人名取市文化振興財団

しまじろうコンサート おとぎの くにの だいぼうけん

6月29日[土] 10:30/13:10/15:50 大ホール チケット：発売中
主催：ベネッセコーポレーション

加山雄三ホールコンサート Acoustic 若大将

7月8日[月] 18:30 開演 大ホール チケット：発売中
主催：復興応援その日がくるまで MusicGuild
共催：公益財団法人名取市文化振興財団

わくわく楽しい音楽会 vol.2

7月21日[日] 14:00 開演 中ホール
子どもも大人も一緒に楽しめる演奏会をお届けします。
出演：久保田 巧(ヴァイオリン)ほか
主催：公益財団法人名取市文化振興財団

JAZZ LIVE

11月16日[土] 小ホール
出演：TOKU(ヴォーカル・フリューゲルホーン)ほか
主催：公益財団法人名取市文化振興財団

クリスマスコンサート

12月14日[土] 中ホール
心ふるえる美しい歌の数々と息の合った2人のトークをお楽しみください。
出演：米良美一(カウンターテナー)、緑川まり(ソプラノ)ほか
主催：公益財団法人名取市文化振興財団

チェンバロ・ソロリサイタル～宮廷音楽への招待～

2014年2月8日[土] 14:00 中ホール
豊穣な響きもつ中ホールで聴くチェンバロの魅力をご堪能ください。
出演：中野振一郎(チェンバロ)
主催：公益財団法人名取市文化振興財団

今年度最初の自主事業のご案内

サッポロビール presents

坂本サトル「歌とギターと車と僕と2 名取公演」

7月6日[土] 18:00 開演 小ホール
宮城県に縁の深い坂本サトルを迎えアコースティックライブを開催！
出演：坂本サトル
主催：公益財団法人名取市文化振興財団

※詳しくは、公演のチラシや当会館公式サイトをご覧ください。情報は現時点でのものです。日時、出演者等が都合により変更となる場合がございます。予めご了承ください。

交通アクセス

電車で ・仙台空港アクセス鉄道「杜せきのした」駅より徒歩8分
・JR名取駅より徒歩17分 ※タクシーのご利用の場合はJR名取駅が便利です。
バスで ・名取市乗合バスなとりん号：植松入生線、まちなか循環線、市立がんセンター線、牛野名取駅線、宮農線、下増田線が通っています。
車で ・高速道路から：名取JCTから県道129号を名取方面へ進み、国道4号との合流で岩沼方面へ。名取市増田交差点で左折。
・岩沼方面から：国道4号を名取市増田交差点で右折。
※駐車場の収容台数には限りがございます。公共交通機関をご利用になるか、できる限り乗り合わせてご来館ください。皆さまのご協力をお願い致します。



公益財団法人名取市文化振興財団

財団法人名取市文化振興財団は、平成25年4月1日より公益財団法人に移行しました。
宮城県名取市増田字柳田 520 (名取市文化会館内)
TEL：022-384-8900 / FAX：022-384-6684
名取市文化会館 ホームページ：http://bunka.natori.or.jp/



文化の 木 森

特集

名取で初のオペラ上演！
5都市共同制作公演 歌劇「カルメン」

宝塚歌劇雪組全国ツアー公演 ミュージカル・ロマンス「若き日の唄は忘れじ」
2013年公演スケジュール

ぶんかのもり
vol.44
2013.4

名取で初のオペラ上演！

5 都市共同制作公演

歌劇 カルメン

名取市文化会館開館15周年を祝って、2月24日（日）、ビゼーの名作オペラ『カルメン』が上演されました。名取でオペラを上演するのは今回が初めて。大勢の出演者とスタッフの力を結集して創り上げるオペラの舞台を、たくさんのお客様が楽しめました。

記念すべき公演をレポートします。

ユニークな演出による『カルメン』

自由に生き、自由に恋する女カルメンと、彼女を愛してしまった純朴な兵士ドン・ホセとの運命の恋を、スペインの香り漂う歌と音楽で描く『カルメン』。この名作オペラが、石川・福井・富山・東京・名取のコンサートホールの共同制作により5都市で上演され、その最終公演が名取で行われました。ひとつのプロダクションを5公演するとはいえ、合唱団とダンサーはそれぞれ地元の団体が出演し、オーケストラは名取公演のみ仙台フィルが演奏。千秋楽ならではの高揚感に加え、宮城の音楽の力を堪能する公演になりました。

狂言師・茂山あきらさんによる演出は、物語の舞台を本来のセビリアではなく、スペインの植民地のマニラに。植民地という特性を表すために、言葉は作品どおりのフランス語に加え、日本語も使うという粋な設定でした。舞台セットは闊

牛場を思わせるもので、その観覧席には合唱団が常に位置し、物語の傍観者として存在感を放っていました。この演出のさらなる注目は、オペラの台本にはない“運命”役のダンサーの存在です。バレエ『カルメン』ではしばしばみられる配役ですが、オペラでは珍しく、もしかしたら振付を担当した世



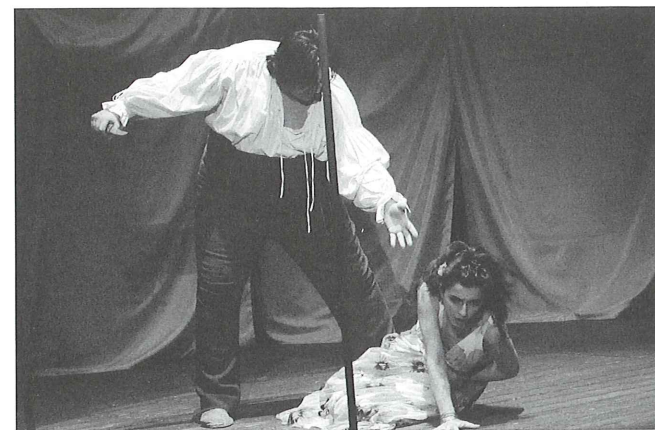
界的ダンサー兼振付家・中村恩恵さんのアイデアかもしれません。避けられない悲劇的結末へと導くかのように“運命”役が無言で立つ姿は、オペラの中でとても効果的でした。

気迫に満ちた歌と演奏

鳴りやまない拍手！

そんなステージを繰り広げる『カルメン』の舞台稽古は、公演前々日からスタート。公演前日の通し稽古では、歌手たちは全曲歌いつつ、音楽や演技のタイミング、ホールの響きなどを確認。指揮の井上道義さんは、より劇的な音を求めて合唱やオーケストラに次々と指示を与え、さらにはダンサーや舞台スタッフにも檄を飛ばします。公演にかける並々ならぬ思いが伝わってくるリハーサルでした。

そして本番。1音1音に気迫を感じる、非常に完成度の高い舞台となりました。カルメン役のピウンティさんは、ソプ



ラノとメゾの両音域を持つ彼女ならではの輝きある声で、カルメンの強い意思と深い情感をていねいに描き出し、ドン・ホセ役のラ・スピナさんは突き抜ける声でカルメンへの一途な思いを歌い上げました。スメギさんは色気と気品を併せ持つ絶品のエスカミーリョを演じ、小川里美さんはこのオペラのおアシス的な役ミカエラを清楚に演じ、熱唱しました。そして井上道義さんのタクトのもと、仙台フィルの集中度の高い演奏、仙台放送合唱団、NHK仙台少年少女合唱隊の役になりきった力強い歌唱で、『カルメン』の世界を描き切りました。

終演後の客席は、感激のあまりスタンディングオベーション！ 舞台と客席がとても近い名取市文化会館では、歌と演奏とドラマの素晴らしさに加えて、ステージの熱気がお客様に直に伝わり、他会場以上にオペラの迫力を味わっていただけました。拍手は鳴りやまず、何度もカーテンコールされたのち、名取初のオペラ公演は幕を閉じました。

平成24年度文化庁「優れた劇場・音楽堂からの創造発信事業」（共同制作公演）

「名取のお客様は最高！」出演者からのメッセージ



カルメン役
ジュゼッピーナ・ピウンティ

とても幸せなステージでした。カルメンは豊かな表現力が求められる役なので、最高のコンディションで臨みたいと準備しました。おかげさまで自分のすべてを出しきれたと思います。名取のお客様はとても情熱的ですね！カーテンコールでの拍手がしっかり心に伝わってきて、素晴らしい瞬間でした。名取で起こったことをうかがい、胸がいっぱいです。このオペラ公演が、皆さんが新たなステップを踏み出す助けになればと願っています。



ドン・ホセ役
ロザリオ・ラ・スピナ

公演を終えてとても興奮しています。お客様が音楽を心から楽しんでいることが私たちにも伝わり、舞台と客席が共鳴した素晴らしい公演でした。私は5都市すべての舞台に立ちました。名取では合唱団だけでなくオーケストラも替わりましたが、皆さん準備は万全でした。震災で大きな被害を受けた名取の皆さんが、このようにオペラ上演を熱心に支えてくださり、また、公演に来ていただいたことに感謝します。名取で歌えて光栄です。



エスカミーリョ役
ダニエル・スメギ

エスカミーリョを歌うのは10年ぶりですが、良いコンディションで楽しんで歌えました。私はどの公演も常にベストを尽くして歌いますから、名取でも東京でもニューヨークでも意気込みは同じです。しかし名取での大惨事を思えば、おのずと舞台にかけける思いは深くなりました。皆さんのためにエスカミーリョを歌えてとても光栄です。名取市文化会館の音響はとても素晴らしいですね。またオペラを上演するときには、ぜひ声をかけてください。



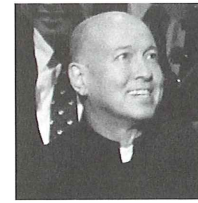
ミカエラ役
小川里美

ツアー最終公演で、一番成熟した舞台をお贈りできたと思います。出演者は家族のようにチームワークが良くて、終演後も「また再演したい」と話すほど充実した舞台でした。ご覧になったお客様が「またオペラを観たい」と思ったり、心に残った『カルメン』のメロディを鼻歌で歌ったりしていただけたら幸いです。歌のできることをやりたい、と震災直後から思っていたので、名取で歌えて嬉しかったです。今後もぜひお声がけください。



レメンタード役
ジョン・健・ヌツツオ

お客様がとても熱くて、気持ちよく歌えました。そして、キャスト全員素晴らしかった！僕の役にある五重唱は合わせるのが難しい曲なのですが、5人とても仲良く息はぴったりでした。僕は一昨年の夏に名取市文化会館のロビーで歌ったのですが、オペラ公演で再び名取に来れるなんて！オペラという総合芸術のパワーが少しでも復興の力になれば、と歌手全員が強く思い歌った公演でした。次回はここでぜひドン・ホセ役を歌いたいですね。



指揮
井上道義

名取での初オペラ上演に、歌・演奏・合唱・演出すべてにおいて豊かな内容の舞台をお届けできました。言葉や衣裳は私たちの感覚に近いものを、という私のコンセプトも上手に取り入れてもらえた舞台になり、ハッピーです。音楽家にとって毎公演が真剣勝負。児童合唱の子どもたちもさまざまな悲しみを抱えていると思いますが、集中して歌ってくださいました。名取は一昨年の夏以来ですが、かなり復旧が進んでいますね。日本人はすごい！